

「埼玉県公営住宅等見守りサポーター通信」 No.4

現場を回っていらっしゃる見守りサポーター事業者のみなさん、団地自治会の見守りサポーターのみなさん、本格的な夏を迎え、熱中症になる方が増えてきます。

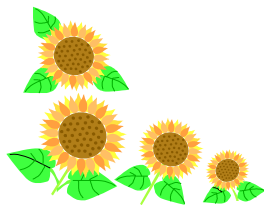
公営住宅にお住まいの方はご高齢の方が多くお住まいのため、今回は、高齢者の方の熱中症への注意についてまとめてみましたので、参考にさせていただきますようお願いいたします。

周りの方に気を配っていただき、引き続き見守り活動にご協力ください。

高齢者の特徴

体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないまま熱中症になる危険があります。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いため、熱中症になる場合がありますので注意が必要です。

汗をかきにくい



見守りサポーターのみなさんも
体調には十分お気をつけください

暑さを感じにくい

こんな時はためらわず救急車を呼びましょう。

- 自分で水が飲めない、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合
- 意識がない(おかし)、全身のけいれんがあるなどを発見した場合

お知らせ

平成25年12月には見守りサポーターが、住戸内の異変に気付き、警察・消防へ通報していただいたことで単身高齢の方を緊急搬送し、一命をとりとめたという事例がありました。

見守りサポーター登録事業者数が345件(うち県営自治会153登録)となりました。さまざまな業種の方にご協力いただいております。詳しくは、埼玉県住宅供給公社ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

見守りにご協力を!



埼玉県マスコット「コパト」

【見守りサポーターについてのお問い合わせ先】

〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3丁目12番10号

埼玉県住宅供給公社 公営住宅部 県営住宅課

電話 048-829-2875 FAX 048-825-1822

<http://www.saijk.or.jp/>